

令和5年

鮭川鮭有効利用釣獲調査

10月28日～11月23日の間の延べ15回、鮭川鮭有効利用調査委員会(鮭川村)主催で「第16回鮭川鮭有効利用釣獲調査」が行われました。本来は川で鮭を釣ることは出来ないのですが、鮭川では鮭の生態調査などを目的に毎年、鮭が帰ってくるこの時期に開催されています。生態調査では、鮭の重さ・大きさはかりウロコを採取します。採取したウロコは山形県水産試験場に送り、年齢を調べるそうです。



取材日に出会った方にお話を聞いたところ、「鮭川での調査に参加するのは初めてだったが、きれいな川で大きな鮭を釣ることができて楽しかった」との事でした。岐阜県から車で片道7時間かけ参加されたそうです!!快く写真に応じていただき、ありがとうございました。

鮭の重さを量ります。

鮭の大きさを測定します。

対象魚種 シロ鮭(オス鮭)

鮭のうろこを採取します。

期間中は岐阜県・山梨県・神奈川県・埼玉県・栃木県・宮城県・岩手県など全国からたくさんの方が参加され、今年は台湾からの観光客も釣りを楽しんだとのことでした。

東北地方工事安全施工推進大会(SAFETY2023) 優良企業(現場代理人)表彰受賞

「東北地方工事安全施工推進大会(SAFETY2023)」が4年ぶりに東北6県全体で開催されました。この大会では、東北地方の公共工事において、労働災害防止活動に積極的に取り組み、安全施工に貢献した現場代理人の表彰が行われ、鮭川出張所管内担当工事「最上川中流木ノ下地区堤防強化工事」現場代理人の安彦陽子さん(沼田建設株式会社)が受賞されました。おめでとうございます!



安彦 陽子さん

油流出事故にご注意下さい

寒くなると暖房を使う機会が増えるため、タンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川に流れ出す事故が多く発生します。その原因の多くが人的ミスによるものです。事故を起こした場合、油の撤去には費用がかかります。その費用は、事故を起こした原因者が負担することになります。給油中はホームタンクから離れない、ホームタンクや配管の定期点検は怠らないようにしましょう。

流出した油を自分できれいに清掃したつもりでも、雨とともに流れ出たり、地面に染み込んだ油が時間の経過とともに水路に出てくる場合があります。また、流出した油を水で洗い流すことは被害の拡大に繋がりますので絶対にしないでください。

△油の流出事故を起こしてしまったり、流出を発見した場合は…

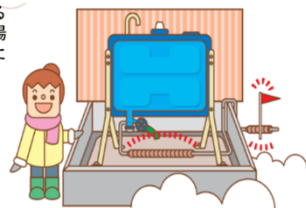
万が一、油の流出事故を起こしてしまったり、発見した場合はすぐにお近くの消防署・警察署・市町村役場・県や国土交通省の機関にご連絡してください！

① その場を離れない



ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場をはなれないようにしましょう。

② 配管の場所には目印を



除雪による配管の破損を防ぐために目印を立てておきましょう。万一来備え防油堤を設置しておくとう安心です。

③ 落雪には注意して



屋根からの落雪による配管の破損・脱落やホームタンクの転倒に注意しましょう。

④ 定期点検を怠らない



配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

今月の風景

～ 鮭川出張所管内をめぐる～

時代は大きく変化しても、止まることなく流れ続ける川。その川に沿って街をめぐる、その街の風景などを紹介していきたいと思ひます。第7回目は「鮭のウライ漁」を紹介しします。



「ウライ」とは…アイヌ語で築(やな)の意味



鮭川と泉田川の合流点



サケを絶やさないよう増殖に取り組んでいる漁業協同組合の方々の「ウライ漁」を見せていただきました。海から川の上流へと遡上してくるサケを「ウライ」と呼ばれる漁具を使い捕まえます。そのサケから卵を採取し、受精させ、ふ化場へ運びます。そして、ふ化した稚魚は3月に川へ放流するそうです。